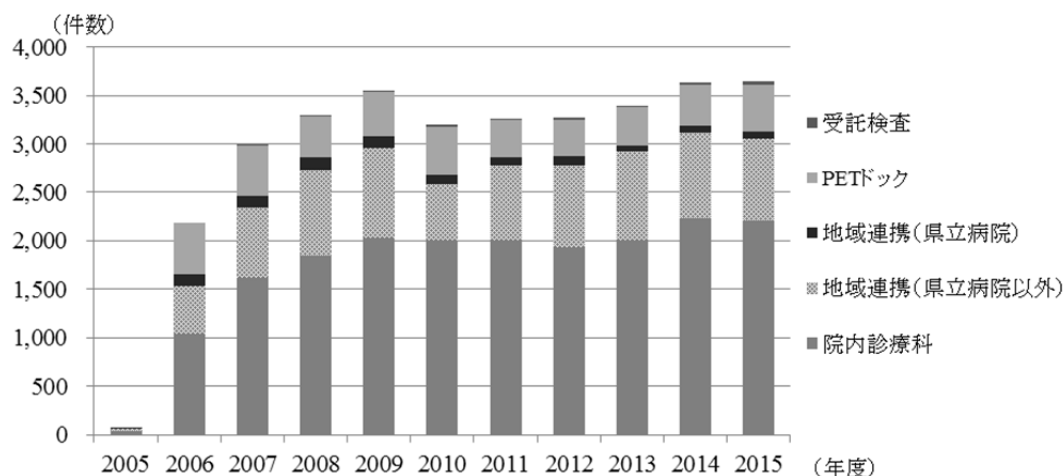


## PET-CT センター2015 年運用実績

### ■ 月別実績

	実稼働 日 数	PET がんドック		地域連携		中央病院	受託検査	合 計	1 日平均
		2 日コース	1 日コース	県立病院	その他		J A厚生連		
1 月	20	8	16	5	70	206	3	308	15.4
2 月	13	10	20	7	67	141	1	246	18.9
3 月	21	24	33	3	76	199	3	338	16.1
4 月	22	27	25	8	81	196	2	339	15.4
5 月	21	29	23	9	78	185	3	327	15.6
6 月	18	15	12	6	63	169	2	267	14.8
7 月	19	18	33	8	77	203	8	347	18.3
8 月	15	16	21	2	61	151	5	256	17.1
9 月	18	18	25	3	68	176	6	296	16.4
10 月	19	23	11	6	62	189	2	293	15.4
11 月	20	15	19	8	73	188	2	305	15.3
12 月	21	20	21	9	67	207	5	329	15.7
合計	227	223	259	74	843	2,210	42	3,651	16.1

### ■ PET-CT検査 年度推移表

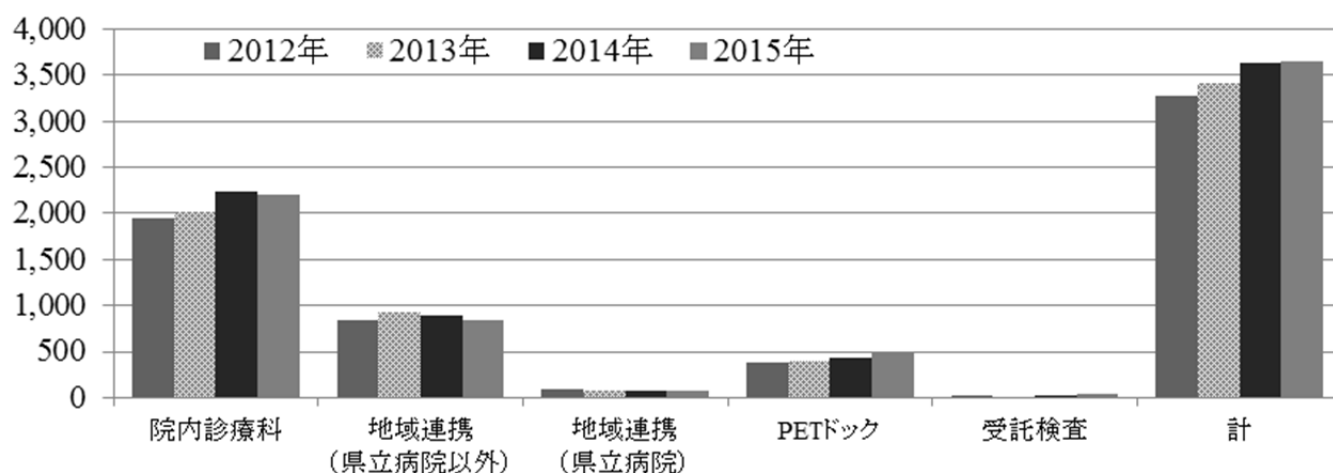


\* PET-CTの稼働は2006年3月から（2005年度は2006年3月分のみ）

\* 受託検査は2007年度から

区分	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
院内診療科	37	1,046	1,622	1,847	2,029	2,014	2,009	1,940	2,004	2,234	2,210
地域連携 (県立病院以外)	28	492	727	882	937	574	773	844	917	884	843
地域連携 (県立病院)	3	117	119	132	116	94	86	94	69	72	74
PET ドック		540	522	425	462	497	379	377	395	425	482
受託検査			7	10	12	19	17	23	12	25	42
合計	68	2,195	2,997	3,296	3,556	3,198	3,264	3,278	3,397	3,640	3,651

■ PET-CT 検査 年度比較表 (2012～2015 年度)



区分	院内診療科	地域連携 (県立病院以外)	地域連携 (県立病院)	PET ドック	受託検査	計
2012 年度	1,940	844	94	377	23	3,278
2013 年度	2,004	917	69	395	12	3,397
2014 年度	2,234	884	72	425	25	3,640
2015 年度	2,210	843	74	482	42	3,651
増減	▲24	▲41	2	57	17	11

■ 愛媛PET-CTセンターにおけるPETドッグでのがん発見数

対象期間：2006年4月1日～2016年3月31日（120カ月）

検査総数	4,663件
発見数	127件
発見率	2.7%

疾患	PET-CT陽性	PET-CT陰性
甲状腺がん	21	
大腸がん	15	
肺がん	29	
前立腺がん	7	3
胃がん	4	5
乳がん	3	1
膵がん	6	1
悪性リンパ腫	6	
子宮がん	5	1
咽頭がん	1	
頬粘膜がん	1	
喉頭がん	1	
原発性肝がん	1	
食道がん	3	
腎がん	3	
肛門がん	6	1
膀胱がん	1	
白血病		1
合計	113件	13件

すべてPET、CT及びそれらの重ね合わせ画像の診断によって検出。これら3種類の画像を診て総合的に診断しているため、PET画像単独で何件検出できたかは不明。

上記のうち、甲状腺がん4件、肛門がん1件、前立腺がん3件、肺がん13件、悪性リンパ腫2件、胃がん1件(Borrmann Ⅲ型)、膵がん2件、大腸がん5件、子宮がん1件、卵巣がん1件、及び腎がん2件は進行がんで、残りはすべて早期がん。

上記120件のうち、患者の希望により、11件は県立新居浜病院で、13件は四国がんセンターを、2件は済生会病院を、2件は松山赤十字病院を、6件は愛媛大学付属病院を、1件は松山市民病院を、1件は松山ベテル病院を、1件は野口病院（大分県別府市）を、1件は国立がんセンター（東京都）を、1件は都立駒込病院（東京都）を、1件は兵庫重粒子線医療センター（兵庫県）を、1件は有明病院（東京都）を、1件は南松山病院を、1件は市立宇和島病院を、1件は宇和島徳洲会病院をそれぞれ紹介。1件は中国国籍の患者で状況不明、1件はロシア国籍の患者で状況不明、残りはすべて県立中央病院にて治療。

PET-CT陰性で発見された胃がんのうち一例及び前立腺がん一例は、ペプシノーゲン及びPSA高値で指摘し、上部内視鏡及び前立腺バイオプシーで確定診断されたもの。乳がん一例は、CTで小結節を認めたが、PETでの集積は認められなかったもの。腎がん一例は、ダイナミックCTで検出されたが、PETでの集積は認められなかったもの。白血病一例は、血液検査で発見されたもの。